

ひめだ高志ニュース

日本共産党 和歌山市公議員

No.1319

20.11.24

26日から12月定例会市議会

2権綱、2大関が休場の11月大相撲で、大関・貴景勝が照し富士との優勝決定戦で押し相撲に緻し、優勝しました。お見事、12月定例会市議会は予定通り26日から始まりますが、コロナ感染の増加とかがんを懸念して、6日議会に議長の出席と一般質問入数の制限が話し合われた結果、日本共産党の一般質問はこ入りとなりました。

コロナ感染・入院と自宅待機

コロナ感染により入院したときの退院後や濃厚接触者の自宅待機について、県の説明資料が参考資料として市議会でも回覧されました。11月15日までの退院については、退院後2週間の自宅待機を求められたが、16日以降の退院後は自宅待機を求めないとのことでした。

フツのフツ (1102)

官房権密費の90.5%が使途不明な「赤旗」は言うが...

私にだけはあつていいもんね

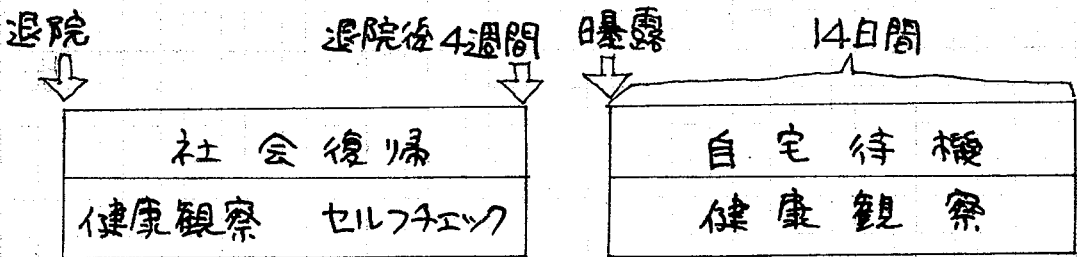
使途は非公開が決まりましたもの

しかもこんな解釈をしてるもんだ
【自助】①国民には自分のことは自分でやれ
②自民党を助ける

和歌山県 退院後及び濃厚接触者のフォローについて

① 退院後のフォロー
11月16日～退院

② 濃厚接触者のフォロー
変更なし



濃厚接触者については、変更はないとのことでした。

2021予算要望・重点項目

10. 介護保険について、①高すぎる保険基準額の引き下げに努めていただきたい。②要介護1・2を総合事業

今週のフツのフツ (その265)

スガ氏の公費の使い方

スガ首相が官邸を官邸時代に受け取った内閣官房機密費(報償費)のうち、領収書不要の「つかみ金」である政策推進費が3年度からの7年間で総額86億100万円(年間11億1000万円)の間、22日、しんぶん赤旗が情報公開で入手した資料でわかりました。官邸機密費は、会計検査院にも領収書を支払い先を明らかにする必要がある。スガ氏の公費の使い方は「スガ」です。



ひめだ高志

していただきたい。④「同居家族がいる」というだけで、生活援助が受けられないという事例が続いている。5「ケアマネジメントを指導していただきたい。」

① 旧同和対策事務所について、市長の言葉が「思いやり」を断ち切るために、事業そのものを廃止していただきたい。② 旧同和対策事業を中心に業務を行って、人権同和対策課は廃止し、公平・公正な人権施策

を行いたい。② 地域子ども会活動支援交付金の交付率を向上させたい。③ 文化会館(隣保館)、児童館、地区センター、福祉館は各条例の目的通り、全市民が利用できるように報告したい。④ 詐欺被害防止のための不用品回収について、金額の返還を確保させるのはなく、抜本的改善のための第三者機関を設置し全額説明したい。⑤ 居住の安定確保のため空室率(約30%)は

改善は重要なのに財源が公平・公正に確保していただきたい。⑥ 自然環境や景観を大切にするため、破壊するおそれのあるXガソリン(巨大太陽光発電)計画については、事業者が断念するまでおさめの方策を講じてほしい。

⑦ 中央校給食の全量給食は、デリバリー方式ではなく、自給方式・親子方式を進めたい。

以上

ひめた高専

日本共産党

医療支援金現場に届かず
新型コロナウィルス対策として国が設けた総額3兆円の「緊急包括支援交付金(医療分)」をめぐって、医療現場に届いた額は10月末時点で全

体の2割に満たない5200億円のうち、約100億円の厚労省から日本共産党の「医療支援金」を示された資料から判明。交付の遅れには、緊急包括支援金の国の補正予算が1次、2次と出していること、都道府県の事務作業が、このころ膨大になってきていることが指摘されて

います。医療機関では冬の一時金の遅れによる動きも出ており、ただ、えん金が不足するのに医療者が住まぬかぬなく懸念する声も相次ぎ、減収補てんとして、地域医療を支えるすべての医療機関に診療報酬を前年比で減額する支払い「機算払い」を求めていることが出ています。

12月定例会市議会日程案



月日(曜)	会	議
11月26日(木)	本会議	議案説明・質疑(先議分)
12月27日(金)	休会	
12月30日(月)	本会議	討論・採決(先議分) 決算書 議案説明・質疑(先議分) 討論・採決
12月1日(火)	"	一般質問
12月2日(水)	"	"
12月3日(木)	常任委員会	
12月4日(金)	"	
12月7日(月)	"	
12月8日(火)	"	
12月9日(水)	"	
12月10日(木)	特別委員会	
12月14日(月)	本会議	議案説明・質疑・討論・採決



私、ひめたは総務委員です

ペンタックスと学生生活日本

学習の友社のこの本は、スウェーデンの環境活動家グレタさんの発言や行動に刺激された3人の方が執筆。グレタさんはアメリカの高校生の銃規制を求めた学校ストライキを知り、気候変動に対する大人たちの無作為に抗議するためストーム

ホルム議会で毎週金曜日、学校を休み座り込みを決行。この行動に刺激を受けた立教大学生の宮崎紗矢香さんは就活を切り上げ「気候非常事態宣言」を都議会に求める運動などに取り組んだ若者である情熱的な報告は、刺激的でした。